

## 第2回 新たな図書館宮の下分館に関する意見交換会

令和6年7月20日(土)  
西部地域福祉センター 大集会室

### 1 館長挨拶

### 2 宮の下分館の現状

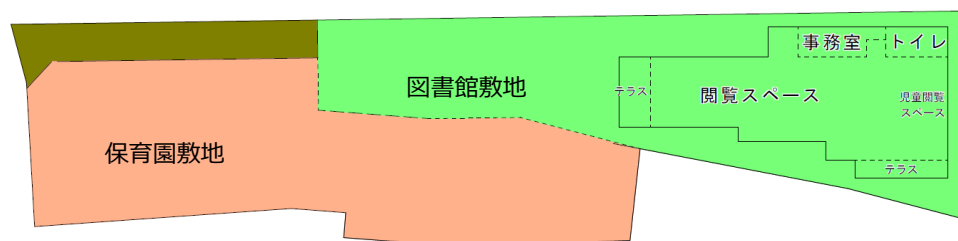
- ・昭和47年(1972)開館
- ・床面積 341.97㎡
- ・蔵書能力 31,000冊
- ・1階は宮の下保育園。開館から52年が経過し老朽化が進行。

### 3 移転の概要

- ・移転予定先  
警視庁第七機動隊跡地  
(調布市上石原3丁目1番地)
- ・図書館敷地面積 1072.87㎡  
(駐車場・駐輪場含む)
- ・建築面積 428.63㎡
- ・延べ床面積 412.29㎡



### ・全体図



### 4 スケジュール

令和5年度 基本設計 ▶▶▶ 令和6年度 実施設計

▶▶▶ 令和7年度 敷地整備・新館建設 ▶▶▶ 令和8年度 分館移転・新館サービス開始

## 5 これまでの取り組み

- (1) 施設整備に向けた基本的な考え方【参考：別紙】 ※図書館ホームページでも公開
- (2) 住民アンケート ……令和5年7月から9月  
高校生以上一般と小中学生に分けて実施  
回答数 計495件（高校生以上一般：354件，小中学生：141件）
- (3) 第五中学校意見交換会 ……令和5年10月6日（金），参加人数 生徒12名
- (4) 第1回意見交換会 ……令和5年10月28日（土），参加人数 14名

## 6 新しい宮の下分館の内容

### 【概要】

建築面積 428.63 m<sup>2</sup> 延べ床面積 412.29 m<sup>2</sup>

1階建ての独立した建物（現在は図書館2階，1階に保育園併設）

### 【新サービス(1) バリアフリー対応施設】

- ▶ 入口にスロープを設置 ……車いすやベビーカーでも使いやすく
- ▶ バリアフリースイッチ ……車いすでの利用，おむつ交換スペース
- ▶ 車いすでも利用できる低い書架（本棚），広い通路を確保

### 【新サービス(2) おはなし室】

- ▶ 開放型のおはなし室を設置 ……靴を脱いで上がり，本を読めるスペースとして活用

### 【新サービス(3) YAコーナー】 ……～アンケート結果から反映～

- ▶ 中高生向け資料の収集
- ▶ 可動式のテーブルを設置

※YAサービスとは：中学生・高校生世代（YA：ヤングアダルト）を主な対象とするサービス

### 【新サービス(4) 静かに本を読むスペース】 ……～意見交換会でのご意見を反映～

- ▶ 部屋を壁で仕切り，静かに読書するためのスペースを確保

### 【新サービス(5) 飲食可能なテラス】 ……～アンケート結果から反映～

- ▶ テラスを2か所設置 ……読書スペース，飲食スペースとして活用

【新サービス(6) プライバシーに配慮した設備】

- ▶ 予約本受取りコーナー・自動貸出機を設置 . . . 利用者が自身で貸出手続き可能  
※令和6年度、調布市立図書館でICタグを導入

## 7 意見交換・質疑

## 8 問合せ

- (1) 図書館に関すること 調布市立中央図書館

電話 042-441-6181 メール tosyokan@city.chofu.lg.jp

- (2) 保育園に関すること 調布市子ども生活部子ども政策課, 保育課

電話 042-481-7757・7132 メール kodomo@city.chofu.lg.jp

hoiku@city.chofu.lg.jp

## 調布市立図書館施設整備に向けた基本的な考え方

令和6年2月

調布市立図書館では現在、中央図書館、10の分館、高架下資料保存庫からなる図書館ネットワークを構築し、サービスを提供しています。

こうした中、市が策定した調布市公共施設マネジメント計画（令和5年2月）において、令和12年度までに、中央図書館、国領分館、宮の下分館、緑ヶ丘分館、若葉分館、染地分館及び高架下資料保存庫について、新たに整備又は整備の検討を行うものと位置づけられました。

については、これら整備等に向けて、改めて調布市立図書館としての施設整備の基本的な考え方を次のとおりとりまとめました。

今後、地域特性や立地条件、面積等、施設整備に与えられた条件のもと、地域住民の意見を踏まえ、適切に機能を盛り込みながら整備に当たっていくものとします。

## 1 利用者ニーズに応える図書館

多様な利用者層・ニーズの把握と施設整備への反映

## 2 読書・調査活動への支援

- (1) 静かに読書できるスペースの提供
- (2) 幅広く充実した資料の提供及び展示を可能とする書架整備
- (3) 利用者の学習を支援するスペースの提供
- (4) 貴重な調布ゆかりの地域資料を展示活用できるスペースの確保
- (5) 所蔵資料を十分に保管できる書庫の整備

## 3 乳幼児・児童・青少年の利用促進

- (1) 対象年齢や世代別ニーズに合わせた資料提供スペース等の設置
- (2) 乳幼児連れの保護者が安心して利用できる設備・空間の整備
- (3) 地域の保育園、小学校の図書館ガイダンスに対応できる十分な広さの子ども室、おはなし室の設置

## 4 ICTを活用したサービスの提供

- (1) 利便性の向上とプライバシーの保護を図るICタグ及び関連機器の導入
- (2) 充実したデジタル資料等の提供が可能なスペースの確保

## 5 居場所としての図書館

- (1) 会話などコミュニケーション可能なスペースの設置
- (2) 多目的な利用に対応可能な柔軟な設計
- (3) 子どもから高齢者まで誰もが過ごしやすいスペースの確保

## 6 持続可能な図書館

- (1) ユニバーサルデザイン、バリアフリーに対応した設計
- (2) 省エネルギー、メンテナンスフリーに配慮した設計
- (3) レイアウト変更に対応したフレキシブルな設計
- (4) サービス動線を考慮した設計